

R3年度 川前小学校 通学路対策箇所図

【対策検討メンバー】
 ・教育委員会、学校(学)
 ・道路管理者(道)
 ・警察署交通課(警・交)

(川前小3)
 T字路に歩行者専用の信号機があるが、青の点灯時間が短く、一度に2か所の横断歩道を渡り切ることが難しい。
 <対策内容>
 ・児童への交通安全指導(学)

(川前小4)
 横断歩道はあるものの、先に信号機があり、信号に間に合うように速度を出して走る自動車も見られ危険である。
 <対策内容>
 ・児童への交通安全指導(学)
 ・横断歩道内の黒舗装部分を緑色にカラー化(道)
 ・外側線の引き直し(道)
 ・横断歩道端部にポールコーンを設置し、歩行者の溜りスペースを確保(道)
 ・標識の整備と横断歩道の高輝度化による横断歩道の明確化(警・交)

(川前小2)
 直線路で見通しがよいが、その分自動車の速度が出やすく、横断歩道であっても横断に注意が必要である。
 <対策内容>
 ・児童への交通安全指導(学)

(川前小1)
 直線路で見通しがよいが、その分自動車の速度が出やすく、横断歩道であっても横断に注意が必要である。
 <対策内容>
 ・児童への交通安全指導(学)

(川前小6)
 現在奥田商店はセブンイレブン仙台赤坂店となり、店に出入りする車両の増加に対する安全面での配慮からか、児童館に登館する児童は旧来通り縁石やガードレールのない路側帯を通っている。今後、青葉5379の延長に伴い現在利用している交差点の交通量の増加も見込まれ、大変危険である。
 <対策内容>
 ・児童への交通安全指導(学・児童館)
 ・児童館への登下館時は北側歩道を通よう指導(学)

(川前小5)
 以前、歩行者が自動車にはねられて死亡した事故があり、危険箇所としている。
 <対策内容>
 ・児童への交通安全指導(学)
 ・標識の整備による横断歩道の明確化(警・交)



— : 通学路
 ● : 交通対策箇所